



## PTA早朝作業

平成22年10月20日



ご協力  
ありがとうございました



### 江小PTA活動方針と重点目標

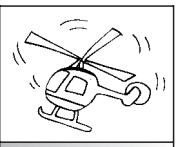
#### 子どものくらしに目を向けよう

- けじめのある子にしよう
- 思いやりのある子にしよう
- 責任のもてる子にしよう

生涯学習を志向しすすんで地域の活動に参加しよう

江釣子小学校 児童数  
11月末

男子	375人
女子	372人
合計	747人
PTA会員数	593人



# 学校探訪

## 特集 PART 2

今回の「学校探訪」は、課外活動の特集です。皆さんで存じのよつにクラブと言っても、授業で行つたクラブと授業が終わつてから活動する課外のクラブがあります。今回は小学校を代表して様々な大会に参加するため、練習に励んでいる課外クラブの子もたちを取材しました。

### 水泳

水泳記録会に参加する児童のための課外活動と思われがちな水泳課外ですが、さにあらず。今回の取材であらためて知ったのは、水泳課外は、みんなのための水泳課外だった！ということでした。

「選手になる児童だけでなく、自分の個人記録を伸ばしたい。水泳をもっと楽しみたい。そのような児童もいっぱい居ますよ」とおっしゃるのは、顧問の門脇秋彦先生です。

今年はそのような児童だけでなく、自分の個人記録を伸ばしたい。水泳をもっと楽しみたい。そのような児童もいっぱい居ますよ」とおっしゃるのは、顧問の門脇秋彦先生です。

初、寒暖の差が激しい天候が多く、気温と水温の落差が激しいため、練習時間が短縮され、練習時間も短縮されています。

江釣子小学校合唱課外は、平成二十二年四月、四年生から六年生までの男子十一名、女子二十名の計三十一名で活動しています。今年も例年通り、NHK合唱コンクールとIBC合唱コンクールに向けて、その活動を行ってきました。

顧問の小原裕先生の目の下での悩みは、部員の数が減ってしまったことだそうです。確かに前年度よりも女子の数が少なくなりましたが、練習も減りません。

それでも、昼休みや放課後の日々の練習の中で、子どもたちの歌声がだんだん良くなっていくと、指導にも手がたえを感じるとのことです。

今年、コンクールの課題曲を含め、ハイモニーも美しい発表になりました。今現在は、六年生の卒業を控え、さよならコンサートの練習をしています。同時に来年度からの新たな部員も募集が始まりました。持つて生まれた声を楽器に変えて、仲間と奏でるハイモニーは、合唱の醍醐味。カラオケで歌うのとはかなり違いますが、仲間とともに、ステージのスポットライトも、また素敵な体験だと思えます。



1に練習2に練習



しぶきかけつけ



イルカのように泳ぐぞ!

間がかなり絞られてしまったとか。また、夏休み前の心ない悪戯のために、プールが一時使用不可になるなど、決して順風満帆な年ではありませんでした。

しかし、そんな環境の限界を乗り越えようと、ほぼ毎日のように放課後のプールは熱いしぶきが飛んでいました。

「タイムを縮めるためには、更に一つ上のサイクルで泳がなければなりません。自分の練習段階が上がらなければ、そのメニューに慣れるまでの辛さを乗り越え、タイムが縮んだ時の喜びを、児童一人ひとりに味わってほしいです」と、門脇先生。

来年もまた、プールサイドから熱い声援が飛ぶことでしょうか。待ち遠しいですね。

### 合唱

江釣子小学校合唱課外は、平成二十二年四月、四年生から六年生までの男子十一名、女子二十名の計三十一名で活動しています。今年も例年通り、NHK合唱コンクールとIBC合唱コンクールに向けて、その活動を行ってきました。

顧問の小原裕先生の目の下での悩みは、部員の数が減ってしまったことだそうです。確かに前年度よりも女子の数が少なくなりましたが、練習も減りません。

それでも、昼休みや放課後の日々の練習の中で、子どもたちの歌声がだんだん良くなっていくと、指導にも手がたえを感じるとのことです。

今年、コンクールの課題曲を含め、ハイモニーも美しい発表になりました。今現在は、六年生の卒業を控え、さよならコンサートの練習をしています。同時に来年度からの新たな部員も募集が始まりました。持つて生まれた声を楽器に変えて、仲間と奏でるハイモニーは、合唱の醍醐味。カラオケで歌うのとはかなり違いますが、仲間とともに、ステージのスポットライトも、また素敵な体験だと思えます。



パートごとに練習、そして発表



こんな感じで歌ってごらん



届け僕らの歌声

ケで歌うのとはかなり違いますが、仲間とともに、ステージのスポットライトも、また素敵な体験だと思えます。

### 陸上

陸上課外はその名の通り、毎年行われる小学校陸上競技大会において、本校の指折りアスリート達が活躍するための強化課外活動です。今年も例年になく猛暑に見舞われましたが、顧問の鈴木勝利先生をはじめとする先生方の猛暑に負けない熱い指導のもと、九月二十五日の本番を迎えました。

今回は、その前日の模範を取材させていただきました。

大会前のコンディショニングから当日のウォーミングアップや待機時の指示など、当日、選手がよりベストな状態で競技に臨めるよう、細やかなご指導をされていました。

また、陣地の応援団に「行つてきます！」と、

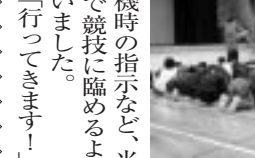
陸上は、毎年、陸上の競技の好きな記録に挑戦したい意欲が、

あふれた選手を募っております。次回の募集は、来年度のトップアスリートも、夢ではないかも知れませんね！

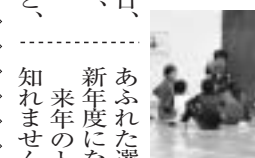
接援をしてから競技に向かうことや、戻った際には「応援ありがとうございます！」の感謝の一言を忘れないなど、当たり前ではあるのですが、つい忘れられてしまいがちな大事なことも、あらためて指導下さっていました。

陸上は、毎年、陸上の競技の好きな記録に挑戦したい意欲が、

なんとなん、徐々に緊張感が...



平成22年度江釣子小学校陸上の精鋭が集う



大会前日、顧問の鈴木先生から確認事項の指導が



なんとなく、徐々に緊張感が...

### トラ鼓

初夏の晴れ間を賑わす運動会や、江釣子地区民運動会のパレードの出演など、いわば式典の花形それがトラドラム隊です。

今年、平成二十二年度は、四年生から六年生までの二十三人が、金管の音色と、リズムカルなドラムさばきに磨きをかけていました。

去る十月十六日に行われました学習発表会においても、アップテンポの曲から、難易度の高い曲まで、しっかりと演奏を聴かせてくれました。

トラドラム隊、通称「トラ鼓」は、実は今年、

初夏の晴れ間を賑わす運動会や、江釣子地区民運動会のパレードの出演など、いわば式典の花形それがトラドラム隊です。

今年、平成二十二年度は、四年生から六年生までの二十三人が、金管の音色と、リズムカルなドラムさばきに磨きをかけていました。

去る十月十六日に行われました学習発表会においても、アップテンポの曲から、難易度の高い曲まで、しっかりと演奏を聴かせてくれました。

トラドラム隊、通称「トラ鼓」は、実は今年、

協力・協同でつくる喜び  
● 継続性 長く続けて頑張る力  
● 情操教育 心豊かな子の育成

また、今後の課題としては、練習・指導時間に限界があり、今年からクラブの形になりました。小学生の課外活動としては限界が来てしまいましたが、子どもたちにとっては、クラブになったことで、より身近に楽器や音楽と触れる機会が増えた。そう捉えれば、良いチャンスもまた、多くなりそうです。



金管の花形といえばトラドラム



音感にみがきかけるトロンボーン



暑さになんが負けてない!!

子どもたちにとっては、クラブになったことで、より身近に楽器や音楽と触れる機会が増えた。そう捉えれば、良いチャンスもまた、多くなりそうです。

# 専門部紹介 Part2

今回は、厚生部と会報編集委員会、ベルマーク委員会を掲載します。

## ○厚生部○

厚生部長 千田 寛子

昨年度から、ドッチボール大会の対戦方法が順位を争わない「交流試合」という形になり、時代と共に和やかな雰囲気になってきています。確かに、今年度は、思い切った名称を改めました。目的は、低学年のうちからルールを守る気持ちよさを身につけて欲しいとの願いからでしたが、何より、「一生懸命練習したのにトーナメント戦では、一回だけで負けて帰るのはかわいそうだ」という親としての深い熱意や、公平を求める意見が多くあり、そのように決定しました。

また、地区厚生部の方々からは現実的な提案を多く頂き、大変助けられています。昨年度までに問題となっていた部分の改善から、勝手が変わりご不便を感じる方もありません。なかなか一人一人の願いは叶えられず、心苦しい時もありますが、どうか一年間、皆様のお力添えを頂き、地区の交流を深めながら温かい気持ちで子どもたちを見守っていただけたいと思っています。



▶ドッチボール大会 6月20日



▼バドミントン大会 10月31日

## ○会報編集委員会○

会報編集委員長 及川真希子

今年度、会報編集委員長を務めさせて頂いております。初めての経験で慣れない事ばかりですが、皆様にご協力を頂きながら、今年一年間頑張りたいと思っております。宜しくお願致します。

会報編集委員会の今年度活動内容は、各学期一回、年間三回の「動輪」の発行に向け、記事ごとにチームを作り、皆で力を合わせて取材や執筆に励んでまいります。保護者の皆様には、原稿の執筆などお願する事もあると思っております。その際はご協力の程宜しくお願致します。

学校行事や地域行事での子どもたちの様子を、分かり易く見易く伝えていきたいと思っております。また、子どもたちの様子だけでなく、校舎の紹介など、あまり知る機会が無いのに、少し気になるような事柄、旬な話題や特集なども沢山載せていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



▶動輪No.148の校正作業

## ○ベルマーク委員会○

ベルマーク委員長 高橋 敬子

今年度ベルマーク委員長を務めさせて頂くことになりました。皆様のご協力を頂きながら頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願致します。

日頃、ご家族で集めて頂いているベルマークは、PTAの資金として利用することが出来ます。また、購入金額の1割に相当する金額が、僻地校・特殊教育校・災害被災校・海外日本人学校・発展途上国の子どもたちの援助に向けられます。

私たちベルマーク委員も、子どもたちの学校生活がより充実するように、仕分けなどの作業を頑張りますので、保護者の皆様もご協力よろしくお願致します。



▼ベルマークで購入した黒板消しクリーナー



トランペット隊クラブ「オブラディ・オブラド」他



合唱課外「ハナミズキ」他

# 学習発表会

平成22年10月16日(土)



パトクラブ「Love Rainbow」他



1年生による「はじめの言葉」



**四学年 合唱**  
**ひびけ歌声**  
努力の成果が出た  
学習発表会

四年四組 工藤 愛華  
学習発表会の日、たくさんの方が見に来ていたので緊張しました。本番は、練習で気をつけてきたことを上手にできました。終わった後、先生たちにほめられて嬉しかったし、自分でも大成功だと思いました。

\*.....\*

佐藤亜由美 西一三 花音  
短い練習期間の中、家でもリズムの取り方や歌を練習してがんばっていました。発表はとても素晴らしく、迫力も十分、子どもたちの生き生きとした表情が印象的でした。タイトル通り、心にひびいた歌声でとても感動しました。ありがとうございました。

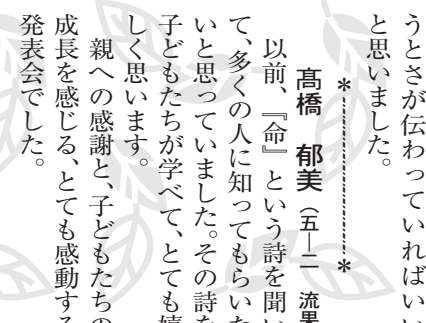


**一学年 表現**  
**お空のくもよ かせさんよ**  
はじめての  
はっぴようかい

一年一組 三浦 柚利  
きょうは、はっぴようかいでした。わたしは、大きなこえでいえるかなとときどきしました。一ばんたのしかったのは、おどりでうでをしつかりのばすことをがんばりました。はくしゅが大きくてうれしかったです。

\*.....\*

及川真由美 二一四 智也  
一年生にとって初めての発表会でしたが、とても初めてとは思えない程立派でした。子どもたち一人一人が、本番にむけて一生懸命練習した成果だと思えます。どの子どもも皆、すばらしい表情で発表している姿にとっても感動しました。

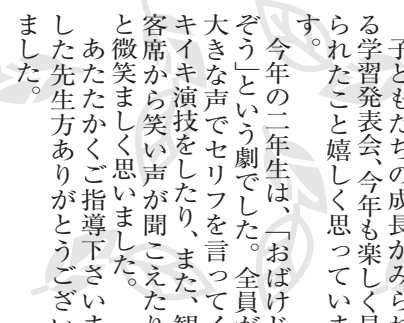


**五学年 総合表現**  
**いのち**  
くそのすばらしい  
おくりもの

五年一組 八重樫梨花  
私たち五年生は、「命」について学んだことを発表しました。学習発表会を通して、お父さんやお母さん、会場の人たちへありがとうの気持ちや、命のとうとさが伝わってほしいと思います。

\*.....\*

高橋 郁美 五二 流恩  
以前、「命」という詩を聞いて、多くの人に知ってもらいたいと思っていました。その詩を子どもたちが学べて、とても嬉しく思います。親への感謝と、子どもたちの成長を感じる、とても感動する発表会でした。



**二学年 劇**  
**おばけじぞう**

二年二組 石山 堅一  
今日は、学しゅうはっぴよう会でした。朝から気合いが入っていました。おしょうやくは、じぶん一人だからです。ステージに立って、楽しくできました。うちに帰ったらおかあさんがほめてくれました。せいこうして、よかったです。

\*.....\*

菊池美代子 二一 日陽  
子どもたちの成長がみられる学習発表会、今年も楽しく見られたこと嬉しく思っています。今年の二年生は、「おばけじぞう」という劇でした。全員が大きな声でセリフを言って、イキイキ演技をしたり、また、観客席から笑い声が聞こえたりと微笑ましく思いました。あたたかくご指導下さいました先生方ありがとうございました。



**六学年 劇**  
**お母さんの木**

六年三組 千葉 彩乃  
小学校最後の学習発表会は、私にとって一番最高のものになりました。

お母さん役として、みんなと励まし合いながら自分の最高以上の力を出し切れました。歌も今までで一番良く、みんなの息が一つになって、気持ちが伝わったと思います。

\*.....\*

萩原 朋子 六一四 美紀  
今年も、子どもたちの真剣な発表に心打たれました。特にいろんな学年で歌が歌われていたのが良かったです。きれいなハーモニイや、迫力たっぷりなところは江釣子小ならではのようです。子どもたちと先生方が力を合わせたすばらしい一日でした。



**三学年 劇**  
**おかしな好きな海ぞくのおかしな旅**

三年一組 高橋祥一郎  
はじめて練習したときは、あまりせりふもおぼえていなかったし、大きい声で言えませんでした。

ちがう組で知らなかった人もいたけど、同じ海ぞく役をして友だちになれてよかったです。

みんなときょう力して、すごくいいげきになってよかったです。

\*.....\*

猪鼻恵美子 三三一 應  
三年生の発表は「おかしな好きな海ぞくのおかしな旅」の劇でした。子どもたちは自分の役を力いっぱい表現し全員が主役となり素晴らしい劇でした。成長した姿に喜びを感じました。ありがとうございました。



# 地区行事

夏休み

十三区PTA会長  
高橋 忠幸  
(六一一 幸)

今年十三区では、花巻温泉郷「美翠館」へ行って来ました。朝から雷雨で天候には恵まれませんでした。大型バスに乗って子どもたちはとても嬉しそうでした。

美翠館に到着し、まず午前中はみんなで温水プールに入りました。ビーチボールで遊んだり、浮き輪を使ったり、幼児用のプールもありとても良かったと思います。

昼食はカレーライスでした。子どもたちからは「辛い!!」の声飛び出し、大人が食べても少し辛いかなと感じましたが、お腹がすいていたこともあり美味しく頂きました。

午後はそれぞれ温泉に入ったり、卓球をしたりと楽しい時間を過ごしました。

ケガも事故もなく、無事に帰って来る事が出来て良かったと思います。子どもたちにとっても心に残る思い出になってくれればと思います。

十四区PTA会長

伊藤 克子  
(六一四 佑美)

十四区子ども会では、夏休みの行事として、ふれあいセンターで屋台をする事にしました。七月三十一日この日は、朝から暑い日でした。子どもたちは午後から、出店の準備におわれました。夕方から地区の一年生から五年生他お世話になっている地区の方々に事前に参加して下さるよう、声を掛けていたので多数の参加をしていただきました。六年生の子も



たちは水ヨーヨーを作ったり、焼そばを作ったり、金魚すくいやスパーボールすくい、綿あめやかき氷の屋台までさまざまな出店をしました。みんなで親たちと協力し合いながら頑張ったと思います。その後、ビデオ鑑賞をしたり、花火をして楽しみました。六年生全員ではありませんでしたが、ふれあいセンターでお泊まり会をして新聞作りをしました。みんなで力を合わせて夏休み行事を無事ケガなく終わらせる事ができ感謝しております。ありがとうございました。

十六区PTA会長

梅林 貴幸  
(六一四 凜花)

十六区子ども会では、二十五日に毎年恒例の八坂神社奉納相撲大会を行いました。前日からの大雨、当日の雷雨と、開催できるか不安でしたが、開始時刻には雨も止み、無事に開催することができました。

女子はけんけん相撲。片足をあげての取組みの為、途中で力尽きての決着。逆に何分たっても決着がつかないことがありました。

男子は腰にベルトを巻き、本格的な相撲。低学年でも力強く、保護者からの大きな歓声も取組みの度に上がり、全員砂まみれになりながら力一杯頑張りました。全員の取組みが終わり、表彰式ではトロフィー・賞状の贈呈、帰りにおやつをもらって解散となりました。日頃なかなか見られない、子どもたちの力強い姿を見ることができ、子どもたちだけでなく保護者も楽しめた一日となりました。



十五区PTA会長

磯田勇一郎  
(六一三 竜成)

十五区子ども会の夏休み行事は「お楽しみ会」です。公民館で、ドッチビー、バーベキュー etc.を行いました。ドッチビーは、雨で足元がぬかる中試合をしました。どこに飛ぶかわからないドッチビー。暑い中、皆、必死でした。喉がかわいてお腹がすいた頃、夕食のバーベキューです。焼きそば、フランクフルトもあり、

たくさんいただきました。次はスイカ割りです。目かくしをして数回回ってスイカを指して歩きますが、なかなか割れず四苦八苦。そんな中さすが高学年。上手に当てて割っていました。次は「怪談」です。語り手は何故かダースベーター。怪談なのか、快談なのか。(苦笑)奇妙なひとときでした。最後にビンゴゲームをして終了です。みなさんのご協力を頂き無事に終わる事が出来ました。



楽しかったね

# 親子レク

## 二学年

「ドッチボールカレー作り」

八重樫千浩(二組 健)

九月九日、第二学年親子レクを行いました。前半は、各組親子対抗ドッチボール大会。後半には、子どもたちが畑で作った野菜が入ったカレーライスを親子で食べるという内容です。

当日は、朝から子どもたち全員でニンジン、ジャガイモなどをおっかなびっくり、ワイワイと切りました。

ドッチボール大会では、親子対抗ということもあり、普通以上の盛り上がりだったように思います。

運動の後の手作りカレーは絶品で、おかわりする子どもがたくさんいました。親子共々、楽しい交流が出来ました。

## 四学年

「キンボール」

茂木 隆(一組 大樹)

九月三日(金)午後には四年生の親子レクを実施いたしました。北上市体育協会からお二人を講師としてお招きし、「キンボール」というニュースポーツを教えてくださいました。子どもたちだけではなく、私たち保護者もとても楽しい時間を過ごすことができました。

九月とは言ってもまだまだ暑い中、またご多忙のところ、保護者の皆様には多数ご参加いただきました。ありがとうございました。

## 五学年

「ウォークラリー」

下田 雅子(二組 花奈)

今年の夏は猛暑でした。そんな三十五度の暑さが続く中、計画した親子レクは「ウォークラリー」でした。コースの選定や設問は、けっこう楽しいものが出来たかなと思いましたが、心配なのは暑さでした。役員で下見に歩いたのも朝の五時半スタートにした程です。よほど早朝親子レクにしようかと考えた位です。それが、当日の三日前から秋風が吹き始め、一同ほっと胸をなでおろしたものです。それでも暑さ厳しい中、皆が元気に歩いてくれました。好評の声を多く聞き、まだ知らなかった江釣子を知る手助けができたかなと思います。

## 六学年

「土器づくり」

昆 安雄(三組 陽依)

六年生は七月二日に土器作りを行いました。新年度を迎え三ヶ月間の間に「運動会」、「修学旅行」等大きなイベントを体験してきました。ややもすると我々の目には行事日だけがクローズアップ(感動)されがちです。しかし、そこに至るまでの過程で培われる六年生ならではの力強い成長に目を細め感動させられました。

ただ今回は「親子レク」を迎え季節の移り変わりと共にある種の哀愁さえ感じていました。思いで、思いで、思いで作り「あつ!そうか」思い出にこだわらず将来に夢を作ろう。(相変わらず今日も冴えてるぞ!)早速に六等分した粘土の一つを手にするとその才能が発揮され「夫婦茶碗ならぬ親猪口(親子+猪口)」が完成していた。

八年後の乾杯に夢を馳せ、とても充実した時間でした。後は、上手く焼けることを祈るだけです。

おめでとう! 「動輪」  
全国新聞教育研究協議会  
《一〇〇号表彰》第一四六号



八月四日(水)にさくらホールにて、第五三回全国新聞教育研究協議会岩手・北上大会が開催されました。わが校のPTA会報「動輪」も創刊以来一四六号と長年の学校教育の進展に貢献してきたという業績が評価され表彰を受けました。

# 二学期

## 思い出の

ア  
ラ  
カ  
ル  
ト



### 保健委員会

一般の保護者の皆さんには知られていない学校保健委員会を紹介いたします。

保健委員会の構成委員は学校医・薬剤師・栄養士等の専門委員を招き、職員とPTA三役・厚生部三役・各学年委員長のメンバーで構成されています。

児童の健康増進を図ることを目的としており、年二回開催されます。



今年度は七月二十一日と十月五日に開催されました。

一回目は児童の健康診断の結果と環境整備、二回目は北上市健康奨励賞の推薦が議題となりました。



会長：▶  
金沢先生



学校医・薬剤師・栄養士の皆さんからの助言もあり興味深いお話を聞かせてもらいました。

### 体験学習(収穫祭)

#### ◆稲刈り

五年生が五月に田植えをした苗がたわわに実り、収穫の日となりました。

十月五日(火)秋晴れと言う言葉がぴったりの空の下、佐々木純さんのご指導を受けながらにぎやかに稲刈り体験をしました。



#### ◆収穫祭

十一月十日(水)稲刈りをボランティアで手伝って下さった皆さんを招待して三年生・五年生合同の収穫祭を行いました。

三年生は体験学習として畑でもでいものこ汁を作って皆さんに感謝の気持ちを表していました。



### 学校改修工事

昨年度に引き続き改修工事が順調に進んでいます。



▲きれいになった教室



▲工事中の教室



▲【理科室】  
新しい  
テーブル

【音楽室南】  
床、天井に  
段差なし▼



今年度は、各教室の内装工事ということで隔年度ごとに開かれていましたが、実際に学校に毎日いる教職員をはじめ児童たちは引越しやら環境の変化についていくのがたいへんなようです。しかし、床・壁・天井が新しく生まれ変わり教室に戻った時は、皆さんの顔は笑顔です。工事関係者の方々に本当にありがとうございます。

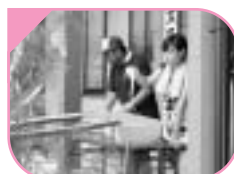
### 編集後記

「案ずるより産むが易し」昔の人は旨いことを言ったものです。今回の会報もここに至るまでは何とも試行錯誤と暗中模索の行ったり来たりでした。それでも記事に書かせていただいた、先生方や児童の皆さんの頑張る姿に後押しされて、ようやく「動輪」148号完成です。次回はよいよ年度末の最終号。どんな情報を保護者の皆様にお届けできるか。また、五里霧中の中からこれぞというものを発掘できれば幸いです。

副委員長 八重樫ひろ

### びんごころ夢まつり

平成十三年度に始まった「あそぼう！どろんこ夢まつり」は今年度で第十回目を迎え、八月八日(日)江釣子史跡センター付近で予想外の一〇〇名を超える子どもたちの参加で盛り上がりました。地域の有志を募り実行委員会を結成した会長の多田政俊さんは、「ひと区切りだ！」と今年が最後と決意したそうです。長い間、実行委員の皆さんお疲れ様でした。そして、本当にありがとうございます。



▲最後の流しソーメン！